

令和6年度第2回優良図書推奨一覧表

番号	対象	図書名・著者名	出版社	発行年月日	規格 頁数 価格	推薦理由(推薦基準)
1	幼児 ～ 小学生 (高学年)	おばあちゃんのにわ 文/ドーン・ケイシー 絵/ジェシカ・コートニー・ティックル 訳/横山和江	出版 ワークス	2023年5月25日	23.6× 27.0cm 34頁 1,760円	おばあちゃんの庭は、草や木がぼうぼうの自然のままの庭でした。わたしはおばあちゃんと庭ですごすのが大好きになりました。でも、おばあちゃんは亡くなり、庭も変わっていきます。わたしも子どもができました。変わりながらつないでいく命を感じます。(1)(2)(6)
2	小学生 (低学年) ～ 小学生 (高学年)	きみが生きるいまのおはなし 作/ジュリー・モースタッド 訳/横山和江	文研出版	2023年9月	26.5× 22.5cm 48頁 1,980円	「時間ってなんだろう?」と、問いかけから始まり、様々な切り口で「時間とは何か」について語られている。時間は、種が芽吹くこと、抜けそうな歯、パンの生地がふくらむことかもしれない。「時間」を目に見えて、分かりやすく親しみやすく表現した本である。(5)(7)(10)
3	小学生 (中学年) ～ 小学生 (高学年)	じゅげむの夏 作/最上 一平 絵/マメ イケダ	佼成出版 社	2023年7月30日	21.5× 15.5cm 123頁 1,650円	夏休み、「4年生の夏は冒険だ!」という かつちゃんの言葉で、4人は熊と格闘した熊吉つあん、橋から川へのダイブ、おばけトキノキ探索などの冒険を始めます。筋ジストロフィーのかつちゃんをみんなで支えながら、将来の夢へと広がっていきます。(1)(4)(10)
4	小学生 (高学年) ～ 高校生	ティーカップ 文/レベッカ・ヤング 絵/マット・オットリー 訳/さくま ゆみこ	化学同人	2023年9月1日	28.6× 25.4cm 32頁 2,200円	ふるさとで暮らせなくなった男の子は、小船で広い海に乗り出しました。カバンとティーカップを持って。カップの中にはふるさとの土が入っていました。海と空と木々が詩情豊かに描かれています。新しい土地について男の子が出会ったのは…希望を感じます。(1)(6)
5	幼児 ～ 小学生 (中学年)	あかいたまご?だれのたまご? 作/アデレイド・ホール 絵/ロジャー・デュボアザン 訳/こみやゆう	好学社	2023年12月13日	20.0× 26.0cm 28頁 1,870円	この本では、オオバンを始め、たくさん鳥たちが登場します。その多様な生態を絵や文から感じることができ、生き物への興味関心を高めてくれます。また、赤くて丸い卵が何なのか、わくわくしながら読むことができます。(2)(5)(8)
6	中学生 ～ 高校生	「好き!」の先にある未来 編著/加藤 美砂子	岩波書店	2024年2月15日	18.3× 13.0cm 128頁 1,595円	どんなことを考えて仕事を選んだのか、「好き」なものを大切にしていた先輩たちの話が紹介されています。理系に進んだ女性たちの話ですが、男女問わず、文理選択や進路を考える際に参考になる本です。(4)(9)
7	小学生 (中学年) ～ 小学生 (高学年)	人間の権利 文/ルイズ・スピルズベリー 絵/トビー・ニューサム 日本語版監修/杉木 志帆 訳/くまがい じゅんこ	文研出版	2024年1月30日	25.0× 25.0cm 31頁 2,640円	私たちは健全な環境で生き、教育を受け、自由に意見を言います。これらは全て人間の権利です。長い歴史のなかで様々な権利が求められてきました。人間の権利はなぜ必要なのか、考えさせられる1冊です。(4)(5)
8	幼児 ～ 小学生 (中学年)	ねえねえ、きょうのおはなしは… 世界の楽しいむかしばなし 再話・訳/大塚 勇三	福音館書 店	2024年1月	18.0× 13.0cm 157頁 1,210円	世界の昔話や創作児童文学を数多く日本の子どもたちに紹介してきた大塚勇三さんによって再話・翻訳された昔話集です。『小びととくつ屋』『赤ずきん』といったよく知られたお話をはじめ、楽しい昔話が20話収められています。(1)(8)
9	小学生 (中学年) ～ 小学生 (高学年)	パパがしげみになった日 著/ヨーケ・ファン・レーウェン	ほるぶ出 版	2023年12月19日	21.0× 14.8cm 138頁 1,540円	この本には、戦争によって、突然隣りの国に一人で移動することになった女の子の旅の様子が描かれています。戦争の辛い現実をユーモアではね返そうとする力強さやたくましさを感じます。(1)(8)(10)
10	小学生 (中学年) ～ 小学生 (高学年)	ほくんちの震災日記 作/佐々木ひとみ 絵/本郷けいこ	新日本出 版社	2023年2月20日	20.8× 15.2cm 142頁 1,650円	東日本大震災が起きてからの家族4人・4日間の物語です。本の中で家族と共に行動するうちに震災にあった人たちの日々の生活が分かってきます。リアルに役立つ情報や、「防災用品を備えるように“心”も備えて」のような、心の持ち方も考えさせられます。(1)(4)(9)

番号	対象	図書名・著者名	出版社	発行年月日	規格 頁数 価格	推薦理由(推薦基準)
11	小学生 (中学年) ～ 中学生	車いすでジャンプ 著/モニカ・ロー 訳/中井 はるの	小学館	2023年12月11日	18.8× 13.1cm 317頁 1,650円	この本には、運動好きで活発な車いすの女の子エミーが、目標を達成するために仲間と共に奮闘する様子が書かれています。お互いを理解するための対話の大切さを感じます。(1)(10)
12	小学生 (高学年) ～ 高校生	アナタノキモチ 作/安田 夏菜	文研出版	2023年10月30日	19.4× 13.5cm 264頁 1,760円	自閉スペクトラム症のハルくん。彼を巡るエピソードが本人、いとこのひより、おじいちゃんの多角的な視点で語られる。登場人物の行動や気持ちがすれ違ったりぶつかったりしていく物語に、「人の気持ちがわかる」ことや家族愛について、自分事として深く考えさせられる。(1)(4)(10)
13	中学生 ～ 高校生	雨にシユ克蘭 著/こまつ あやこ	講談社	2023年4月10日	19.5× 13.5cm 191頁 1,540円	書道パフォーマンスに魅せられ、憧れの高校に進学するも父の事情で引越すことになった真歩は、転校ではなく中退を選びました。アラビア書道に出会い、再び高校へと進み再出発に踏みだします。(4)(5)
14	小学生 (高学年) ～ 中学生	このすばらしきスナーグの国 原作/E.A.ワイク=スミス 訳/野口 絵美 作/ヴェロニカ・コッサンデリ 絵/小沢 さかえ	徳間書店	2023年8月31日	18.8× 13.4cm 352頁 2,310円	口をきかないフローラとサーカスで育ったビップは身よりのない子どもの家で仲良くなりました。二人に親切にしてくれるゴルボと共に、スナーグの国での冒険が始まります。1929年の古典が現代の子どもたちを楽しめるファンタジー作品になりました。(1)(8)(10)

※推薦理由(推薦基準)の○は、優良図書推薦要領の推薦基準(1)～(10)を示す。